



【ホジキンリンパ腫 A-AVD療法について】 (アドセトリス+ドキシソルピシン+エクザール+ダカルバジン)



様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目				
薬の名前	作用	めやすの時間																																	
グラニセトン注 ソル・コーテフ注	副作用を抑える薬です	30分																																	
			尿が赤くなることがあります。																																
ドキシソルピシン注(25mg/m2)	抗がん剤です	30分																																	
			この週はお休みです。																																
エクザール注(6mg/m2)	抗がん剤です	15分																																	
			この週はお休みです。																																
ダカルバジン注(375mg/m2)	抗がん剤です	2時間																																	
			光によって分解し、血管痛の原因になることがあるので、遮光して点滴します。																																
アドセトリス注(1.2mg/kg)	抗がん剤です	30分																																	

😊 **治療による副作用**

:注意が必要な時期

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目				
自覚症状	アレルギー様症状																																		
			発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																
	血管痛																																		
			点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																																
	食欲不振・吐き気																																		
			食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																																
	口内炎																																		
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																																	
便秘																																			
		水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																																	
色素沈着																																			
		肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																																	
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																																			
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																																	
検査値	白血球減少																																		
			感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																																
	赤血球減少(貧血)																																		
			貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																
血小板減少																																			
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																	
肝機能低下																																			
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																																	

心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)

肺の症状(治療開始から2~6ヶ月ほどで起こることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)

※実際の投与スケジュールと異なる場合があります。

本資料は参考としてお使いください



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会
大手前病院